



# 学校便り

## 長崎市立日見中学校

第18号

令和5年11月22日

文責 校長 山本

### 【日見まつり】



11月19日(日)、第1回日見まつりに学校をあげて参加しました。かわち屋さんと共に天満神社から日見公園まで神輿を担いで練り歩く姿に「大きな声を出して道中を盛り上げてくれた。」、職場体験をさせていただいた各店舗からは「一生懸命取り組んでくれてとても助かった。」、ステージのトリを務めた「ヨッシャコイ!」には「涙が出るくらい感動した。来年は私も飛び入りで加わりたい。」と、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。



地域の皆様、たいへんお世話になりました。学校としては、地域の役に立ちたいと、中学生を受け入れていただけないか実行委員会をお願いしたところ、あれこれ調整してくださり、生徒全員が一人一役を受け持つことができました。

地域の方の協力のおかげで、たくさんの方に中学生の参加を喜んでいただき、本当に感謝申し上げます。

次の時代を担う中学生です。これからも地域に必要とされる学校、地域に愛される生徒を育ててまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

### 【能楽鑑賞】

11月20日(月)、文化庁「子供夢・アート・アカデミー」事業による能楽鑑賞会を行いました。これは、美術・文芸・音楽などそれぞれの分野における最高峰の芸術家である日本芸術院会員が学校を訪問し、実技披露を交え、会員自らの体験に基づいた講話を行うものです。

観阿弥・世阿弥のご子孫で第26世観世宗家である観世流の観世清和様をお招きし、能を披露していただきました。観世さんは、2015年の春に紫綬褒章(しじゅほうしょう)、今年の11月には文化功労者を受けられた方です。

謡(うたい) (歌・セリフのこと)に合わせて能を舞う姿に、室町時代からこれまで、約700年もの間、途絶えることなく脈々と受け継がれている歴史の重みを感じました。



今後は、何事にもチャレンジしていきたいなと思いました。「老松」を全校生徒でうたった(はなした)時に、初めは絶対できないと思っていましたが、やってみると、意外とできるかもという考えに変わっていきました。だから、これからは最初から無理だと思わずに、何事にもチャレンジしたいです。(3-2中村菜楓)

### 【12月学校行事】

7日(木)	生徒会役員選挙
8日(金)	授業参観 講演会 育友会(1、2年)
17日(日)	家庭の日
21日(木)	大掃除
22日(金)	2学期終業式 生徒会役員引継式・任命式
29日(金)~1/3(水)	年末年始休暇のため、学校閉庁となります。

※8日(金)講演会 14:00 予定  
長崎市幸町に建設中の「長崎スタジアムシティ」を手掛けるジャパネットの方から、この構想や今後の展望等についてお話を伺います。  
お時間のある方はぜひ学校までお越しください。